

# よこはま都市消防



公益社団法人 横浜市防火防災協会  
Yokohama Disaster Prevention



消防艇まもりと大さん橋 写真：近藤美樹さん

## 67号

1 | 4 | 7月10

| 2025 | Summer |

新連載

消防「時代の証言者」  
第1回 林野火災訓練記

目次／フォト収集 ..... 1

消防局長就任 ..... 2  
 [安全・安心を実感できる都市横浜の実現]に向けて

横浜消防の近代史 ..... 3～4  
 特別編 日本における消防ポンプ自動車の導入

潤滑油と触媒 ..... 4  
 手入れと点検

「減災新聞」の視点 ..... 5～6  
 被害想定を見つめる

令和7年度防災セミナー開催予定 ..... 6

防災の取り組みにアシスト ..... 7～8  
 緊急地震速報の前に避難することも忘れない

消防車は語る(第21回) ..... 9  
 いすゞTXG放水塔消防車

「画集 消防車」～佐藤栄一と横浜の歴史～ ついに発刊! ..... 10

横浜消防トピック 119 ..... 11～12  
 岩手県大船渡市林野火災に伴う緊急消防援助隊の派遣について

当協会が横浜市消防団協力事業所に ..... 12

特集 / 中消防団誕生秘話(後編) ..... 13～16

**NEW** 消防「時代の証言者」(第1回) ..... 17～18  
 林野火災訓練記  
 池谷戦法追想 横浜市円海山林野火災訓練に学ぶ

防災よもやま話 ..... 19  
 横浜市消防音楽隊の防災広報

防火防災協会におまかせ! ..... 20  
 熱中症に対する応急手当講習を承ります。

好評連載 ..... 21～23  
 ●新約消防白書 視点が変わると  
 ●コラム 妄言多謝 ●横浜路地裏日記  
 ●わたしのベストショット ●朝食はコレ!

協会事務局職員の新年度の人事について ..... 22

私の趣味 ..... 23  
 音の楽しみ癒やしのひととき

編集後記 ..... 23

# 「フォト収集」#31

## 山

冷池山荘にて  
 撮影地：長野県  
 作者：武笠基和



## 横浜

壁面緑化その8  
 撮影地：横浜市神奈川区  
 作者：天野義照



## 鉄道

特急あずさ入線 作者：有賀 太重  
 撮影地：長野県穂高駅



## 海

フラッグ！  
 撮影地：沖縄県石垣島  
 作者：M・N



# 「安全・安心を実感できる 都市ヨコハマの実現」 に向けて



横浜市消防局長 佐々木 功喜

横浜市消防局長の佐々木です。この4月から消防局長に就任いたしました。消防局長の責務を果たすため、誠心誠意、最善を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨今の消防を取り巻く状況は、本年2月に岩手県大船渡市において、平成以降、国内最大となる林野火災が発生するなど、自然災害の大規模・激甚化が顕著となっています。また、首都直下地震や南海トラフ地震などの大地震発生への危機感の高まり、今後も増加が予想される救急需要への対応など、非常に厳しい状況となっております。

さらに、今年には阪神・淡路大震災から30年という節目の年でもあり、このような社会状況を踏まえ、市民の皆様の消防への期待は益々大きく

なるとともに、消防防災の重要性が社会的に再認識されていると感じております。

こうした中、当局は「市民の安全・安心を守る」という重要な役割を担う組織として、基本目標である「安全・安心を実感できる都市ヨコハマの実現」に向け、各施策を進めます。具体的には、新たな「横浜市地震防災戦略」に基づく大地震への備え、消防訓練センター訓練施設の更新整備、そして救急隊の増隊をはじめとした救急需要への対応などがあり、377万市民の皆様への負託に応えられるよう、全職員一丸となり、着実に取り組んでまいります。

引き続き、皆様方の御理解、御協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

## 局長略歴

- 昭和63年4月1日 横浜市消防士拝命
- 平成24年4月1日 総務部人事課担当課長  
(消防大学校派遣)
- 平成26年4月1日 都筑消防署 副署長
- 平成28年4月1日 総務部総務課担当課長
- 平成29年4月1日 総務部総務課長
- 平成31年4月1日 都筑消防署長
- 令和3年4月1日 横浜市消防局警防部長
- 令和4年4月1日 横浜市消防局総務部長
- 令和7年4月1日 横浜市消防局長

## 完成した新消防本部庁舎



# 横浜消防の近代史

横浜都市発展記念館

主任調査研究員 吉田 律人

## 日本における消防ポンプ自動車の導入

特別編



日本初の消防ポンプ自動車「メリーウェザー号」 大正期 横浜開港資料館蔵  
運転席に座るのは戦後に加賀町消防団の初代団長となる増田清

本誌で「消防車は語る」を連載している佐藤榮一氏の著書『画集 消防車』が刊行された。同書はこれまで佐藤氏が描いてきた消防自動車のイラストを一冊にまとめたもので、イラストから横浜消防の歴史を視覚的に追うことができる。佐藤氏が消防自動車のイラストを描く契機となったのは、加賀町消防団の初代団長であった増田清が日本人で初めて運転したという「アーレン・フォックス」との出会いである。増田は居留地消防隊(後の薩摩町消防組)の基礎をつくった増田万吉の後継者で、1919(大正8)年9月1日に神奈川県第二消防署(現・中消防署)が誕生するまで薩摩町消防組に所属していた。佐藤氏は増田から直接話を聞き、以後、「横浜のアーレン・フォックスを探してくだ

さい」と訴え続けてきた。だが、史的な限界もあり、残念ながらその実現には至っていない。そこで本稿では、確認できる確実な歴史資料から現段階で判明している消防ポンプ自動車導入の経緯について整理してみたい。

日本消防の通史には、『消防の歴史四百年』(全国加除法令出版、1965年)の著者である魚谷増男(元警察官僚)を編集委員長として編纂された財団法人日本消防協会編・発行『日本消防百年史』第1巻～第4巻(1982～1984年)がある。同書第1巻は「消防ポンプ自動車の登場」として、「明治四四(一九一一)六月、大阪府はドイツ・ベンツ自動車会社から消防ポンプ自動車を輸入した」と記している(184頁)。つまり、日本で最初に消防

ポンプ自動車を導入したのは大阪府であった。1909(明治42)年7月の北の大火(焼失戸数約11,000戸)を経験した大阪市には、大阪市消防規程(1910年3月26日)に基づき、常設の消防署が設置されており、消防ポンプ自動車はその主力装備の一つであった。ただし、福原金吉編『大阪市消防要論』(柳原書店、1914年)を確認すると、大阪府の導入したのは石炭を用いる「自働式蒸気ポンプ」で、ガソリンエンジンを備えた今日的な消防ポンプ自動車とは異なっていた。

本格的に消防ポンプ自動車導入される契機となったのは、1914(大正3)年3月20日から上野公園で始まった東京大正博覧会であった。イギリスのメリーウェザー社とドイツのベンツ社はこの博覧会にそれぞれ一台ずつの消防ポンプ自動車を出陳、3月中に前者を横浜市の薩摩町消防組(旧居留地消防隊)、11月中に後者を名古屋市がそれぞれ購入している。要するに、今日的な消防ポンプ自動車が最も早く導入されたのは横浜市であった。これが後の「メリーウェザー号」となる。

なお、消防機械器具を取り扱う合資会社大同商会(東京市京橋区築地)の代表社員で、消防新聞社の社長兼主筆であった藤野至人の著した『火防消防講話』(消防新聞社、1922年)によれば、名古屋市が消防ポンプ自動車を導入した背景には、当時、愛知県知事であった松井茂の存在があったという。松井は日本消防の発展に尽力した警察官僚で、自著の『国民消防』(松華堂書店、1926年)でも「東京に於て、親しく独逸のベンツ会社の自動車を目撃したる上、旧知伯林消防司令長ライヘル氏に相談の結果、終に之を購入する事となしたのである」と、導入の経緯を回想している(136頁)。

ここで興味深いのは、『火防消防講話』に1922年の年度末までに日本に輸入された消防ポンプ自動車のメーカーと台数が記録されている点である(168~169頁)。それによれば、アメリカのアーレン・フォックス社製消防ポンプ自動車の台数は3台であった。導入先はわからないが、少なくとも、関東大震災発生の直前段階で、国内には3台の「アーレン・フォックス」が存在したのである。

## 潤滑油と触媒

防災を滑らかに伝え、周りを触発する手法アレコレ

今回の触発キーワード 「手入れと点検」

木々の緑が一層深まり、夏空とのコントラストが鮮やかに感じられ始める今日この頃。我が家の小さな庭にも強い日差しが届き始め、緑の濃さが増している。

ところが油断をすると木々はあらぬ方角へ枝葉を伸ばし、これに乗じた雑草たちもここぞとばかりに勢いを増し、やがて小さな庭は樹木と雑草たちの楽園と化す。この事態を防ぐには定期的な手入れしかない。

建物も同じではないだろうか。日々の点検を怠ったがために我が家の庭のようになっていないだろうか。定期的な手入れを日々の点検に例えるなら、枯葉の掃除は避難通路に置かれた不要な物品の撤去、剪定や雑草取りは収容人員の適正化、肥料やりは清掃をしてくださる方々への感謝の言葉といったところか。

こうした管理を怠ればよい結果は期待できない。常に良好な状態を保つには日々の手入れや点検が大事なのである。

来年こそは草木の勢いに負けない早め早めの対応を心掛けたい。(M)



# 「減災新聞」の視点

神奈川新聞論説委員 渡辺 渉



訓練で大規模地震直後の対応を話し合う県職員や自衛隊員ら。連携と迅速な判断が公助の鍵を握る＝1月、県庁

## 被害想定を見つめる

関東大震災と同じような巨大地震がもし今、起きたら、どうなるか―。その答えとなる被害想定が3月、神奈川県から公表された。

1923年(大正12)年9月1日に発生した関東大震災は、国内最悪の自然災害だ。神奈川県西部を震源とするマグニチュード(M)8級の「大正関東地震」によって引き起こされ、東京、横浜を中心に10万5千人余りが犠牲になった。

想定では、その再来型である「大正型関東地震」が発生すると、県内33市町村のうち横浜、川崎、横須賀、鎌倉、小田原など実に23市町が最大震度7の激震に見舞われることが分かった。地盤の軟弱な地域を中心に各地で多数の住宅が倒壊し、密集市街地などで火災が多発。土砂崩れや液状化が各地で相次ぐのに加え、相模湾沿岸部は強い揺れの最中や直後に津波にも襲われることになる。

こうした苛烈な状況に伴う直接死は1万9780人に上ると予想された。初めて算

出した災害関連死の9460人と合わせ、県全体で計2万9240人が犠牲になるとの結果になった。

この数字を多いとみるか、少ないと判断するか。受け止め方は災害に対する意識や立場の違いで異なるだろうが、一つのヒントを提示したい。

関東大震災による神奈川県内の死者は3万2838人だった。死者の大半は火災が原因だったと報告されている。この数字に関連死は含まれていないが、おおむね3月の被害想定と同じ規模といえる。

ただ、国勢調査に基づく1920年の神奈川県人口はわずか約132万人。人口はその後の100年余りで増え続け、921万人(4月1日現在)と震災当時の7倍になった。こうした人口増の状況を踏まえれば、再来型が起きた場合に予想される現在の被害は相対的に抑制されたとみることができよう。建物の耐震化や不燃化が進み、揺れに対する強度が高まったことが大きい。

しかし、近年起きた他の「震災」と比べると、どうだろうか。30年前の阪神大震災の犠牲者は6437人、2011年の東日本大震災の死者・行方不明者は2万2千人余りだ。

つまり大正型で見込まれる神奈川の直接死は、大都市が壊滅した阪神大震災の3倍に達し、巨大津波に襲われた東日本大震災の被災地全体の被害に匹敵するというのだ。また、被害想定を市町村別に見ると、直接死は横浜市の5千人が最も多い。この数字は阪神大震災による神戸市の死者(4564人)を上回る厳しいものだ。

しかも、大正型が実際に起きれば、神奈川だけでなく、隣接する東京などでも甚大な被害が避けられない。首都機能がまひし、まさに「国難」の様相を呈することになるだろう。

こうした「阪神」や「東日本」を超える深刻な被害様相を具体的にどうイメージし、備えに結びつけるか。想像力とともに問われるのは行動力である。行政はもとより、個人や家庭、地域、さらには学校や職場でも求められる。

備えのありようを考える時、目を向けるべき社会の変化がもう一つある。人口の年代構成である。

国勢調査ベースで比較すると、1920年にはわずか4.3%だった神奈川県の高齢化率は2020年時点で25.6%に上昇。15～64歳の割合はほぼ横ばいだが、15歳未満の割合は35.1%から12.0%へ100年間で



横浜市が開催した防災ベッドの展示会。命を守る自助も欠かせない  
=2024年7月

大きく低下した。近年の災害で関連死が大きな問題となっているのは、こうした社会状況が背景にあるからだ。

関東大震災では、いったん郷里などへ逃れた若い世代が、焦土と化した東京や横浜に戻り、復興の担い手になった。しかし、能登半島地震など最近の災害では被災者が地元での再建を諦め、遅れ気味の復興がさらに進まなくなるという悪循環に直面している。

被害を少しでも減らす手だてを講じておかなければ、暮らしや地域を立ち直すのはもはや困難だろう。公助の在りようを考え直す必要もあるが、それぞれが深手を負わないための自助と共助を広げていくことが何より大切だ。被害想定の結果をそう受け止め、備えを改める一助としたい。

## 令和7年度防災セミナー開催予定

### 演題 「明日を守る防災セミナー」(仮題)

講師



NHK財団アナウンサー  
小郷 知子 氏



NHK横浜放送局  
(防災士) 森 良之 氏

日時 令和7年8月26日(火)  
◆14:30～16:00

場所 横浜市開港記念会館 講堂  
(中区本町1丁目6番地)

内容 ①NHKの災害報道  
(予定) ②“命を守るよびかけ”を考える  
③NHKの防災・減災コンテンツ

主催：公益社団法人横浜市防火防災協会  
後援：横浜市総務局・横浜市消防局(予定)

## 第15回

# 防災の取り組みに アシスト

緊急地震速報の前に  
避難することも忘れない

令和7年度の神奈川県立高校の入学者選抜問題にP波S波に関する問題が出題されました。文科省が示している中学校の理科の学習指導要領には「地震の伝わり方」に関する項目があり、同解説では、「震源から距離の異なる場所・・・の伝わる速さを推定させ」、「初期微動継続時間の長さが震源か

表1 2000年以降に震度6弱以上を観測した地震  
(気象庁及び消防庁データから作成)

地震の発生日	震央地名	M	死者 行方不明	住宅全壊
震度6強				
2023年5月5日	能登半島沖	6.5	1	40
2022年3月16日	福島県沖	7.4	4	224
2021年2月13日	福島県沖	7.3	3	144
2019年6月18日	山形県沖	6.7	0	0
2008年6月14日	岩手県内陸南部	7.2	23	30
2007年7月16日	新潟県上中越沖	6.8	15	1,331
2007年3月25日	能登半島沖	6.9	1	686
2003年7月26日	宮城県中部	6.4	0	1,276
2000年10月6日	鳥取県西部	7.3	0	435
震度6弱				
2024年8月8日	日向灘	7.1	0	1
2024年4月17日	豊後水道	6.6	0	0
2022年6月19日	石川県能登地方	5.4	0	0
2019年2月21日	胆振地方中東部	5.8	0	0
2019年1月3日	熊本県熊本地方	5.1	0	0
2018年6月18日	大阪府北部	6.1	6	21
2016年12月28日	茨城県北部	6.3	0	0
2016年10月21日	鳥取県中部	6.6	0	18
2016年6月16日	内浦湾	5.3	0	0
2014年11月22日	長野県北部	6.7	0	77
2013年4月13日	淡路島付近	6.3	0	8
2009年8月11日	駿河湾	6.5	1	0
2008年7月24日	岩手県沿岸北部	6.8	1	1
2005年8月16日	宮城県沖	7.2	0	1
2005年3月20日	福岡県北西沖	7	1	144
2003年9月26日	十勝沖	8	2	116
2003年5月26日	宮城県沖	7.1	0	2
2001年3月24日	安芸灘	6.7	2	70
2000年8月18日	新島・神津島近海	5.1	0	0
2000年7月30日	三宅島近海	6.5	0	0
2000年7月15日	新島・神津島近海	6.3	0	0
2000年7月9日	新島・神津島近海	6.1	0	0
2000年7月1日	新島・神津島近海	6.5	1	0

らの距離に関係していることにも触れる」とあります。これらは中学1年で学ぶこととなっており、日本全国ではこうした知識の教育が行われています。

今年4月にN T Tモバイル研究所が緊急地震速報に関するアンケートを公表しています。15歳から79歳までの男女約1万人に対して実施したもので、その中で緊急地震速報を受信した時に適切に行動できる自信があると答えた割合は、15歳から24歳が最も高く約6割になっています。地震や防災に関する教育が着実に反映されているとともに、緊急地震速報が開始されてから17年余が経過して受信経験を持つ人がほとんどとなり、新しい技術を使った地震への備えに対する意識が上がってきていると考えられます。

緊急地震速報(警報)は、震源に近い地域では、技術的にS波(強い揺れ)の到達に間に合わない地域がでてくるということは承知のとおりですが、実際にどの様な状況なのか少し探ってみましょう。

## 震度と被害

2000年以降に発生した国内の地震のうち、震度6強又は震度6弱を観測した地震(震度7を観測した地震の関連地震を除く。)の死者数及び住宅被害について整理してみました(表1)。震度7を観測した地震では被害が甚大であることは言うまでもありませんが、震度6強と6弱では被害の様相が異なります。地震の発生場所周辺の人口密度などにもよりますが、震度6弱では、大阪府北部地震、福岡県北西沖地震、十勝沖地震などで被害がでていたものも、全体としては6強を観測した地震と比較して被害は大きくありません。

震度5強では更に被害が少なくなっており、建物の耐震化や家具の固定等の対策が着実に進む中で、地震から命と財産を守るためには、震度6弱以上の地震動を意識して行動を考えることの必要性が確認できます。

## 緊急地震速報の提供状況

では、緊急地震速報は、これら震度6弱以上の大きな揺れが来る前にどの程度の時間的余裕があるのでしょうか。緊急地震速報の運用が開始された2007年10月以降の地震について、震度7を観測した地

震のうち海域で発生した東北地方太平洋沖地震では、震度7を観測した地点において緊急地震速報の発表からS波の到達までの時間差は10秒以上ありましたが、熊本地震の二つの地震や北海道胆振東部地震で震度7を観測した地点では、緊急地震速報はS波の到達の後となっています。大きな揺れが緊急地震速報の前に来ているということです。

また、海域で発生し震度6強を観測した2022年及び2021年の福島県沖地震では、海岸線に近いところでその時間差は10秒以内、内陸部の遠いところで20秒以内となっており、海岸線に最も近い地点では緊急地震速報はS波の到達の後となっているところもあります。一方内陸で発生した地震については、2008年の岩手県内陸南部地震で震度6強を観測した地点、2018年の大阪府北部地震や2008年の岩手県沿岸北部地震で震度6弱を観測した地点では、いずれも時間差は1秒以下か間に合っていない状況です。

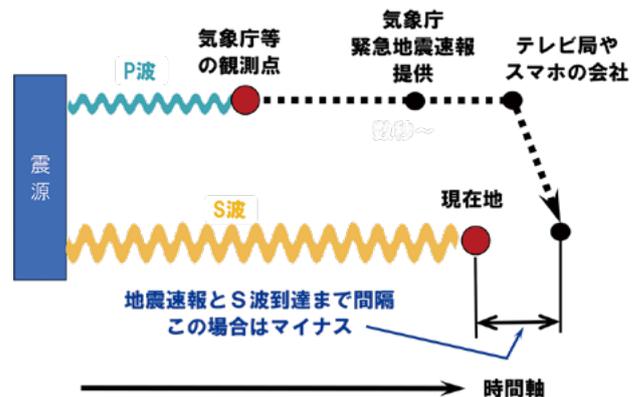
## 緊急地震速報の流れ

この時間差は、気象庁の発表時刻とS波の到達時刻によるものですが、実際は更にその時間差を短くする要素が加わります。

緊急地震速報は気象庁から発表されますが、発表されたと同時にその情報を知ることは困難です。通常は、テレビやラジオ、スマホ等の通信機器を通じてその事実を知ることになります。このため、気象庁の発表(気象庁では「提供時刻」とされている。)から情報が手元に届くまでには、僅かですが時間が経過していることとなります。(図1)

東北地方太平洋沖地震では、14時46分48.8秒に気象庁から緊急地震速報が発表され、これを受けて日本放送協会(NHK)では約5秒後の46分54秒に緊急地震速報を流しています。しかし、他のテレビ局では緊急地震速報は流されずに震度速報や地震情報として流しており、テレビ局によっては

図1 震源地が近い場合の緊急地震速報の流れ



約2分30秒後となったものもありました。

年々、緊急地震速報の迅速な情報提供について改善が進んでいると思いますが、気象庁からの緊急地震速報の提供を受けて、テレビ局やスマホの会社等を経由して情報が伝えられるということも改めて認識しておく必要があります。

## まとめ

海域で起こる地震や長周期地震動に対しては、行動すべき内容を事前に徹底しておけば、緊急地震速報により身を守る時間的余裕があります。しかし、内陸部で起こる直下型の活断層地震で震度6弱以上となる地域では、緊急地震速報の前に大きな揺れが襲う可能性が高くなります。首都直下地震のうち横浜市に影響が大きいとされる都心南部直下地震により、鶴見区・港北区・青葉区・都筑区 など震度6強が想定されている地域では、震源が近く緊急地震速報の後に行動を起こしたのでは人的被害が避けられないことも考えられます。

緊急地震速報の有効性を理解しつつ、地震の初期微動が始まる段階でどう素早く行動を起こすか、意識を高めることが不可欠です。

小野 和夫

せとるべ(高松港玉藻防波堤灯台)にて



## 講習日程の確認はスマートフォンでもラクラクできる!

パソコン、タブレット、スマートフォンなど、異なる画面サイズの端末に合わせてホームページを表示できるので、閲覧も操作も格段に向上しました。また、コンテンツが一体化され内容・デザインの統一をはかり、URLも一つになりました。

当協会では防火防災の各種資格取得講習を実施しています。

- 救命講習
- 危険物取扱者受験準備講習
- 防火管理者・防災管理者取得講習
- 患者等搬送乗務員講習
- 自衛消防業務講習



<https://ydp.or.jp>

## いすゞTXG放水塔消防車

横浜市 入江町兼務救助隊 1955(昭和30)年～

この消防車は市内各地に増えつつあった商店街のアーケード火災に対応するため放水塔を背負って登場した。私は一度だけアーケード火災に出場し、放水塔を起塔して消火活動をしたことがある。アーケードの装飾が燃えたのだが直近に部署して放水銃で一挙に消火したときは苦もなく面倒もなく達成できたことに興奮したものである。しかし地獄も味わった。最も遠い場所(緊急走行で30分)の『こどもの国』付近の真冬の火災では、濡れたままの防火衣で帰署するとき、オープンカーなのでそのままの姿勢で凍り付き上半身が冷凍のプロイラー状態になったこともある。市内最高峰の円海山の林野火災訓練(放水実験)では、起塔して放水射程の計測や直上放水の霧水効果(湿度上昇)を実測した。固定された放水銃からの威力はすさまじいものであった。放水の着地点では霧になっていたのだが林野火災の延焼防止には、これでよいのだと教わった。昨今の森林火災への温故知新と言えるのではないか。

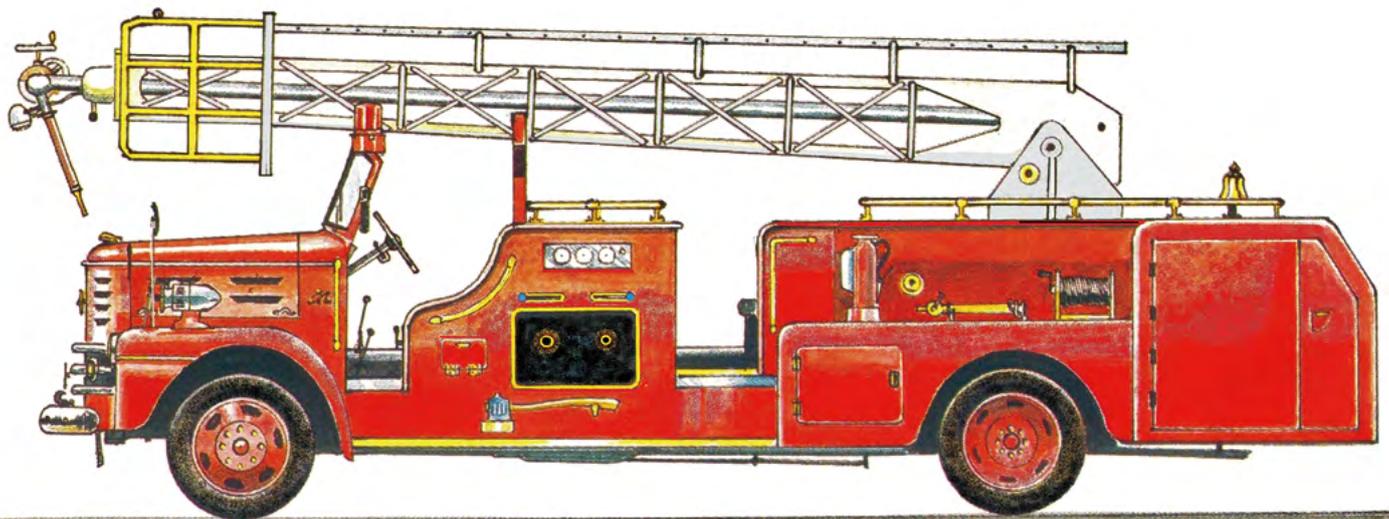
### エピソード

消防兼務救助隊は、最初、入江町のほかに浅間町・杉田出張所の消防隊で結成された。最初の兼務救助隊は次に結成される救助隊の指導も担当したので出場回数は多くなった。私の体験では1当務中出場7回(火災5回、救助2回)火災5件すべて放水活動を行い、使用済みの濡れたホースを手びろめで延長するのはたいへんな作業だった。



防災・生活安全 がもん 我聞塾  
**佐藤 栄一**

イラストのサインSakaeは栄一の榮で高校時代から使用しています。



Sakae Satoru. 画：佐藤栄一

# 画集「消防車」

## ～佐藤榮一と横浜の歴史～

画集

### 消防車

～佐藤榮一と横浜の歴史～



画・文：佐藤 榮一

公益社団法人 横浜市防火防災協会  
Yokohama Disaster Prevention



UD 我が国初のバス型救助工作車  
横浜市特別消防隊 1966(昭和41)年～

画を一新した画期的な考え方の車両であったが、走行しながら車両の中で救助準備を整えることと救命率の向上に貢献できた。

特別消防隊の山崎訓練や水難訓練は消防局のバスとトラックで行動したのだが、一度だけ熱海市で展示するためこの工作車を出向したことがある。真野海岸で水難訓練をしてその後、熱海市幹部に公開したのだが、その効果から、熱海市の救助隊発足が早まったと聞いている。熱海市にはその後英天時水難訓練(プール)のほか土砂災害対応訓練の場所提供などにご協力をいただいた。

# ついに発刊!

佐藤榮一氏による消防車をはじめとする消防関連の車両・航空機・船舶などのイラストを幅広く集め、その「解説」と「エピソード」を綴ったものです。

- I 近代消防の夜明け
- II 自治体消防の誕生
- III 救急車
- IV 救助工作車
- V 航空機 消防艇
- VI 海外の車両
- VII その他

#### ●本の構成

- ・サイズ A4
- ・ページ数 128ページ イラストは102作品

#### ●出版元 公益社団法人横浜市防火防災協会

#### ●販売価格 3,000円(税込)

#### ●購入方法

- ・Eメールによるお申込みになります。
- ・受付完了のメールを受信後、本代金と送料をお振り込みください。

### ご購入方法(お申込み方法)

横浜市防火防災協会宛に裏面の注文用紙を送信する(Eメール)

<https://www.ydp.or.jp/artbook/> Eメール: [gasyu@ydp.or.jp](mailto:gasyu@ydp.or.jp)



代金を振り込む 本代金+送料 \*振込手数料は別途かかります。

【振込先】 横浜銀行 県庁支店 店番号316 (普通)1128493  
口座名義: 公益社団法人横浜市防火防災協会 会長 鈴木正光  
振り込み依頼人の頭に「G」を付けてください。

#### 【注意事項】

- ・6冊以上ご希望の場合は事前にご相談ください。送料も異なります。
- ・領収書が必要な場合は、注文時にお知らせください。
- ・本の返品については、欠陥や不具合等があった場合以外、受け付けません。
- ・本の販売に際してお客様から得た個人情報につきましては、本の販売業務以外には使用いたしません。
- ・発売直後は混雑により発送が遅れる場合がありますのでご了承ください。

◇入金を確認後、本をお送りします。

販売元: 公益社団法人 横浜市防火防災協会

問い合わせ先 電話 045 (714) 0920 (総務課) 定休日 土・日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)  
受付時間 9:00～17:00 所在地 〒232-0064 横浜市南区別所1-15-1 BML横浜ビル2階 10



## 岩手県大船渡市林野火災に伴う 緊急消防援助隊の派遣について

横浜市消防局 警防課

令和7年2月26日、岩手県大船渡市で発生した林野火災に伴う消防庁長官からの緊急消防援助隊出動の要請を受け、横浜市消防局は3月2日から3月16日まで総勢276隊1,045名を派遣しました。

### 横浜市消防局航空隊の活動

横浜市消防局航空隊は出動要請により、3月2日にいわて花巻空港へ進出し、翌3日から空中消火等の活動に当たりました。

特に派遣初期における活動では、火災で発生する濃煙により出火場所や残火の特定が難しく、山から吹く強風下でのヘリコプターの操縦は困難を極めました。消火バケットを用いた空中消火活動では、4日までの2日間において総散水量36,800リットル、計48回の散水を行いました。また、5日からは空中消火に加え、ヘリコプターに搭載された赤外線カメラを活用した熱源調査を行い、熱源が残る地点を陸上部隊へ即時に伝達することで、着実な火災の鎮圧を図りました。

その後も同月16日の任務完了まで、広範囲に点在する熱源調査を継続し、空中消火の飛行時間は約10時間、総飛行時間40時間以上に及ぶなど、ヘリコプターの機動力や消火技術を生かし、被災地のために献身的な活動に当たりました。

火災状況と散水箇所の確認



消火バケットでの空中消火



地上での支援状況(旧綾里中学校グラウンド)



消火バケットへの給水(旧綾里中学校グラウンド)



## 横浜市消防局陸上部隊の活動

陸上部隊は、3月3日8時に神奈川県大隊、同日9時に横浜市指揮支援隊に出動要請があり、火災鎮圧後の同月13日までの計11日間にわたり、消火活動に当たりました。

出動当日に11時間をかけて被災地に到着し、大船渡市赤崎町長崎地区等において、家屋への延焼防止を最優先に消火活動を開始しました。一刻も早い火勢鎮圧に向けて昼夜を問わず24時間体制で活動を継続しました。

その中でも、ドラゴンハイパー・コマンドユニットと呼ばれる、海水を取水して大量かつ遠距離送水が可能となる車両を活用したことで、消火及び延焼防止に多大な効果を発揮しました。

また、ドローンを積極的に活用して情報収集を行ったほか、背負い式消火水のうによるピンポイントの残火処理を行う等、効果的な活動を展開しました。

ドラゴンハイパーを活用した延焼防止活動



ドローンを活用した情報収集



背負い式消火水のうを活用した消火活動



地元消防団と連携した消火活動



## 当協会が横浜市消防団協力事業所になりました

本年5月22日、南消防署に於いて柴田消防署長から当協会山田専務理事に消防団協力事業所の表示証が手渡されました。

この制度は、当協会の複数の職員(3人)が消防団に入団していることや消防団活動のPRなど、地域の消防防災体制の充実強化に寄与していることを認定するものです。



# 中消防団誕生秘話（後編）

元加賀町消防団団長 三浦順治

前編に引き続き、永田元伊勢佐木消防団長、私(三浦元加賀町消防団長)、添田元山手消防団長など中区3消防団の統合に深く関わった人たちの想いや統合に至るエピソードなどについてお話しします。

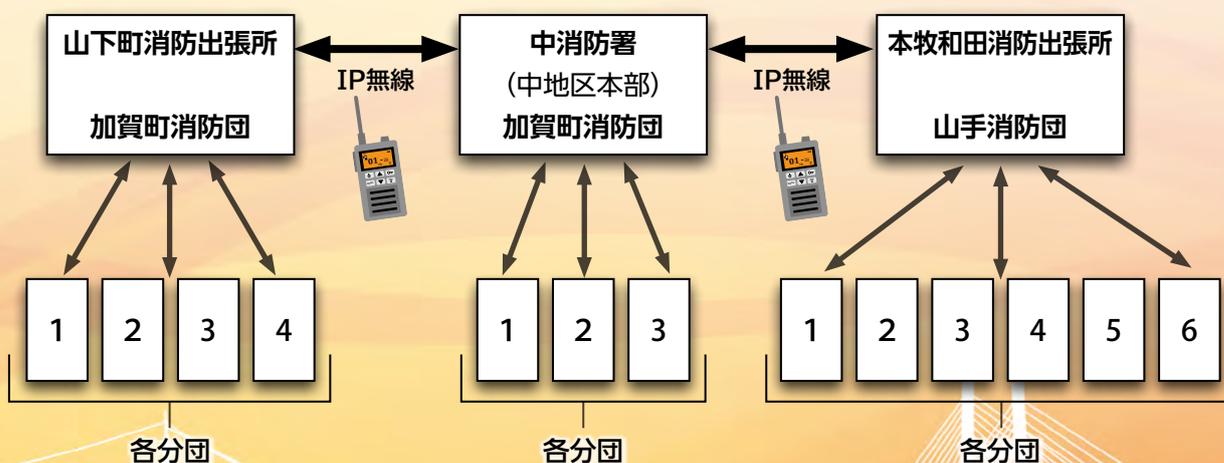
## コロナ禍の団長会議

令和2年4月は消防団幹部の改選期となり、添田山手消防団長が誕生します。これで晴れて海上防災訓練を受けた3名が団長として揃い踏みする訳です。しかし残念なことにこの年から新型コロナウイルス感染が広がり始めて、国内の社会生活全てに活動制限が掛けられるようになりました。消防団の訓練は工夫を凝らして続けましたが、研修や会議は中止や縮小、書面でのやり取りに切り替わりました。横浜市消防団長会の研修会や会議も同様で、対面形式での団長会議が開催された際も、その後の意見交換会（懇親会）は中止となり、新任団長たちとの交流の場は皆無となりました。

夕方に消防局での団長会議を終えた永田、三浦、添田の3団長は相鉄線で横浜駅へと向かいます。不謹慎な話ですが、お酒好きの3人はそのまま大人しく帰宅する意思は全く有りませんので、駅の地下飲食街を徘徊します。奥まったところにコロナ禍でも営業している小洒落たビアホールがありました。入り口の看板には「ハッピーアワー 生ビール350円」などと書かれています。3人は吸い込まれるように店内に入り、第二部の“会議”が始まるのです。

その後開催された消防団長会議終了後も3団長はハッピーアワーのお店に足を運びました。会話は当然消防団のことです。“会議”が進むうちに話題は「災害対策警戒本部設置訓練」（情報受伝達訓練）

## 大規模災害時の警戒本部設置(当時)



での問題点となりました。加賀町消防団と山手消防団は同様の課題を抱えており、両団長の話を聞いていた伊勢佐木消防団の永田団長もこれらの問題点を良く理解してくれました。「今の状態では本当に大規模災害が発生した時、中区の消防団はヤバイことになるぞ」3団長の危機意識は共通していました。「長い歴史や伝統、地域性は十分に理解できるが、もういい加減に3つの消防団を統合すべきだろう」「この3人が団長でいるうちに行動を起こそう」酒席での“会議”でしたが3人の目は真剣そのものです。早速「三バカ大将」という連絡グループを立ち上げてお互いの情報交換が始まりました。

## 新生消防団へのロードマップ

中区の3消防団統合となると一筋縄ではまとまりません。まずは3消防団の団長が共通の認識を持っていることを中消防署に伝えようということになり、令和3年9月に「新生消防団への提言」という文書を3団長連名で中消防署に提出しました。提言書は次のような内容です。

迫りくる大規模災害に対応すべく中区3消防団の組織を見直すことを前提として

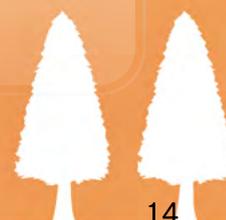
1. 3消防団を統合した新生消防団（仮称：中消防団）に向けての検討会の設置
2. 消防団が主体となり、団員総意に基づく新しい組織づくり
3. 二か年計画で推進

ポイントは消防団から申し出た組織改革です。強い行政指導では団員も後味が悪い訳です。平成22年4月に大岡消防団と寿消防団が統合して南消防団が誕生しました。その際に中区3消防団統合の話が行政側からあったようですが、当時の3団長や団幹部は賛同せず、地域を巻き込んでの大反対運動が起きた記憶があります。それ以来行政側から統合の話は一切出ることは無く、むしろ“3団統合”は禁句のような状況でした。

提言書を受け取った味上中消防署長（当時）の反応は良好でした。というよりも消防局、中消防署ともに消防団長からの統合案は正に“渡りに船”であったと思います。中消防署の消防団係では五味係長（当時）を中心に中消防団発足へのロードマップが作成されました。着地点は2年半後の令和6



会議の様子



年4月1日です。準備や行政手続きで最低2年はかかるのと、令和6年は消防団幹部の改選期となるので絶妙なタイミングでのスタートとなります。

行政上の手続きは中消防署消防団係に任せるとして、我々3団長が取り組むべき“仕事”はそれぞれの消防団員の（統合への）合意を得ることです。当初は団員からの意見をまとめ上げる“ボトムアップ”方式を考えていましたが、2回目の検討会を開催したときにある分団長（当時）が手を挙げて発言を求めました。「こんなまどろっこしい会議は時間の無駄だ。団長がはっきりと（統合の）意思を示してくれれば我々はそれについて行く」言葉は少々乱暴でしたが、3団長の背中を強く押してくれた発言で大変うれしく思いました。消防団らしい良い意味での“トップダウン”方式です。

「新生消防団への提言」から1年が経過し、3消防団団員の合意も得られ、令和4年9月14日に第1回中消防団発足準備委員会がスタートして、いよいよ分団や班の編成作業に移りました。この準備委員会の委員長に3団長は加賀町消防団の高橋伸昌副団長（当時）を指名しました。現中消防団の団長です。

## 団長の仕事

もう一つ、統合に向けて3団長の背中を強く押してくれたことがあります。先にも触れた平成22年の南消防団誕生の経緯です。これが横浜市消防団の直近の統合事例で、当時一般団員だった私が耳にしたのは、大岡消防団と寿消防団の統合案に多くの団員が反対して退団者も出たという話でした。3団長が最も警戒したのは3消防団統合に際して不協和音が生じて退団者が出ることです。当時の状況を詳しく知りたいので南消防団に打診したところ、河野正敏元団長と涌井正夫元団長のお二方が快く応じていただき令和4年5月26日に南消防署会議室にて両氏から統合の経緯を伺いました。聞いて驚いたのは、統合に際しての反対運動などは全く無く、団本部や分団幹部の編成に配慮して（定年退団を前に）自主的に退団された幹部団員が数名おられたという事でした。統合に前向きでなかった中区3消防団には話の尾ひれが付いて「多数の反対退団者」という間違った情報が一般団員に伝わっ



ヒアリングの様子

たということです。人を介しての情報伝達の恐ろしい事例です。いずれにしろ両元団長からのヒアリングは大正解でした。3団長は更に自信をもって統合に向けて邁進します。

団員の意思統一と同時に3団長がやるべき“仕事”は他にもたくさんありました。まずは歴代元団長への説明です。噂に尾ひれが付く前に団長自らが元団長に会ってしっかりと説明することを心掛けました。晴れて統合反対だった元団長も中区3消防団の現状を良く理解していただき統合に賛同してくれました。また各町内会長や連合町内会会長にも極力足を運んで説明をしました。そして最終段階では横浜市条例改正となるので、中区選出の市議へは3団長が雁首揃えて訪問しました。

中区3消防団の中で3団長の他にキーマンが一人います。加賀町消防団の高橋伸昌副団長（現中消防団長）です。3団統合を進める過程で「中消防団の団長は高橋君にしよう」という3団長の考えが固まってきました。彼の父上は加賀町消防団第四代団長を長く務められ、地域にも大変貢献された地元名士でしたが、中区3消防団の統合には強く反対された団長の一人でした。ある日私は高橋副団長を食事に誘い3団を統合する案を話しました。団長として現状に危機感を持っていること。中消防団になることでより強靱な団に生まれ変わり、結果中区にとってより安全で安心な地域になることを切々と話しました。そして「お父様は（統合に）反対しておられたが、貴方が初代中消防団長になって団をけん引すれば、きっと（あの世で）喜ぶと思うよ・・・」高橋祇佑元団長を良く知る私は言葉を詰まらせながら言いました。副団長の目も潤んでいます。

## エピソード

経営の神様といわれた松下幸之助の講演会の最後に聴講者から「どうしたら貴方のように成功できるのですか？」という質問が出ました。幸之助氏は暫く腕組をしながら考えて「そう思うことですか！」と答えました。まるで禅問答のようで、会場が一瞬ひるんだ様子が想像できます。

私はこの逸話が大好きです。学校の教科書にも載せるべきだとも思っています。ハッピーアワー会議で3団長の決意が固まった時から、私は中消防団が誕生するまでのシナリオを頭の中で繰り返し描いていました。そう思い続けていたといっても良いでしょう。永田、添田両氏も同じです。

もしも海上防災訓練に3人が指名されなかったら、もしも3人が団長に就任しなかったら、もしもコロナ禍で無かったならば、もしも3人とも酒好きでなかったならば・・・。

ここで冒頭のプロローグ（4月号掲載前編）で紹介した黒岩中消防署長（当時）の「シンクロニシティ」という言葉が浮かんできます。3団長は中消防団発足に向けて東奔西走しましたが、振り返ると全てが順調に、ほぼシナリオ通りにことが運びました。まるで130年前に仕組まれた「統合」というストーリーに遭遇した3人がそれぞれの配役を飄々としながらも見事に演じきった感じです。

中消防団は発足して一つの区切りは付きましたが、三バカ大将のハッピーアワーはこれからも続いていきます。



# 林野火災訓練記

## 池谷戦法追想 横浜市円海山林野火災訓練に学ぶ

防災・生活安全 がもん 我聞塾 主宰 佐藤 榮一

### はじめに

最近の世界的異常気象とそれに起因すると考察される大規模森林火災、加えて都市一つがまとまって消失する街区火災、ついにわが国でも人命までが奪われる悲惨な結果を生じる深刻な現象になった。

我が国は自然林・人工林合わせて80%近くを有する**森林大国**である。森と林と草地は生命の根源と言っても過言ではない。

さて、私が消防に入って3年目（1967年）、池谷警防部長から林野火災対策の教育と訓練を受けた。当時、池谷部長は戦災を経験した消防のつわものでドイツ軍艦の横浜港内爆発事故、横浜大空襲、火薬庫大爆発事故などの現場指揮をされた経験を生かして『池谷戦法』を考察された有為な人材で私が尊敬した方である。

### 1 円海山林野火災訓練 1967年

円海山は横浜市の標高最高点の山で昭和40年代は杉とヒノキの山林であった。接続森林として磯子区氷取沢・金沢区釜利谷・朝比奈・戸塚区上郷・鎌倉市天園の山林を有していた。現在、円海山の中心部は住宅地である。

広大な山林域は消防的には『**防御困難地域**』とされていたが、無策のままでは警防部長の存在意義が無いと考えているようであった。「攻撃と防御、そして消防として消火と防火（予防）を科学的に考察し、ことが起きたときは狼狽することなく敢然と立ち向かえ。」と訓示を受けた。

### 2 『池谷戦法』林野火災対応の考え方 (太字は、池谷部長訓示・実践行動)

#### (1) 概要

##### ① 目的戦略

- **木材は国家資源である**  
焼失面積は最小限に抑制せよ
- **人家・施設等への類焼はさせるな**

消防にとっては大恥と心得よ

#### • 人的被害は出すな

林野火災から派生する市民の人命損傷は  
消防の不作為責任と心得よ

#### ② 人智的戦術

#### • 徒手空拳は無謀

頭脳・手・足・耳目を活用せよ

#### • 消防力の三要素

「人と機械と水」を総動員せよ

人：消防団、自治会・町内会、企業

機械：**放水塔車・ジェットシューター・  
高圧ポンプ消防車**

水：**小河川はせき止め・川底掘削、**

リサイクル水、

オーロラ戦術（飯島・羽山論）：風下に無人の延焼防止器具による多重防御、水量不足に一度放水した水のリサイクル放水などの戦術

#### 訓練に招集された消防隊：

放水塔車～入江町他（本誌「消防車は語る」9ページを参照）

高圧水槽車～中第2隊他

普通消防車～磯子他

#### • **ポンプ操法（半噴霧・振り回し注水・水幕放水）**

放水銃直上放水、手持ち直上放水（比較）

#### • **消火は側面攻撃**

追いかけて消火は無駄・徒労

#### • **大規模・大量・広範囲噴霧**

湿度を上げる効果

火災の温度を下げ、上昇気流を抑制、火災旋風を防止

オーロラ戦術

→木密地域火災対策にも適用可能

#### • **飛び火警戒（見張り、監視）**

別働隊として飛び火警戒隊を編成する  
（火の粉は親指の太さでも飛ぶ）

### ・高齢者・災害弱者避難補助

人命損傷、殉職を起こすな

#### (2) 制度等

- ・火災警報発令は首長の固有権限  
消防法(気象庁ではない)
- ・林道(林野庁)・県市町村道整備  
管理用の道路が必要である  
(スーパー林道は1970年から整備)
- ・林地と宅地を道路で分割(提案)  
延焼防止線の設定に有効
- ・森林周辺道路上の要所に防火水槽  
湧水・雨水・沢水等の貯留と活用に配慮する

### 3 林野火災考察

- ・林野・植栽環境  
雑木林・竹林が延焼経路になりやすい  
→ススキ原・茅原・空地は【除草条例】で管理
- ・地形・地理環境  
火災旋風は上昇気流により発生する
- ・生活環境  
家屋周辺の雑物が延焼に繋がる  
(2025年、大船渡火災、高齢者死亡)
- ・気象環境  
火災炎上地域に上昇気流が発生し風が強くなり、さらに火災旋風になる
- ・外国の林野火災と消防  
航空消防、森林局消防隊  
模範囚リスクリング森林消防隊 U.S  
【アルカディア20】 【ホットショット】  
航空消防の限界  
(水塊・霧状の選択困難性)  
各地の都市建築被害  
強風による延焼速度増加

### 4 佐藤の林野火災対策、研究と私論

自主防災組織の有効活用  
飛び火警戒隊・消防団との連携  
自治会消火班の初期消火箱(スタンドパイプ含む)  
運用  
自主防災組織・自治会避難誘導班の活用  
災害時要支援者の早期確実避難  
住民の自助意識涵養  
自分の命と自分の財産は自分で守る。(当然)

### 5 佐藤の提言

- ・尾根筋に『防火帯』を設定する  
(1965年頃、消防学校では講義された)
- ・延焼先から『迎え火』を放つ  
最近の消防職員は習っていないのではないかと
- ・指揮官(者)は知識・技術を深く研究し、  
自信を持って統率する
- ・枯葉の完全燃焼による火傷に注意する  
太陽光との関係で見えない炎による気道  
熱傷・顔面深度火傷
- ・地熱による靴底剥離に注意する  
足裏低温やけど(特に指揮者チーム)
- ・森林周辺地域・地域外の飛び火警戒、輻射熱  
による延焼の防止、バケツリレー、火災・避難  
等の状況通報に配慮する
- ・日常(火災前)  
間伐・枝打ち・下草刈り・火災警報発令中の  
遵守事項認識
- ・万全の個人装備  
耐熱防火衣(木綿・法被は火災には不適)、タ  
オル、手拭、ゴーグル、  
飲料水、携行軽食、甘味料、総合ビタミン剤調  
達(長期ボランティア活動中に脚気・鳥目を見聞)

### 6 横浜市道志水源林の保全と県内の林野火災時の消防援助隊の活動

横浜市の水源の一つに道志川があるが、その水源林の管理を現地任せという訳にはいかない(横浜市は自主的に水源林を保全している)。また、県内の林野火災時は、航空隊などが応援もしている。

#### おわりに

森林資源は、世代を超えて培われる財産である。植栽をして伐採されるまで300年を要する材もある。その300年は収益をもたらさない。人間は、にもかかわらず守り続ける。その点に心を向けなければならないだろう。神宮の部材、万博のリングなどの苗木を植栽した人には何の経済的利益や恩恵を与えてないのである。その人たちへのリスペクトを込めて感銘を受けた部長訓示を復刻した。

# 防災よもやま話 第7回



横浜市防火防災協会  
専務理事・防災士  
**山田 裕之**

## 横浜市消防音楽隊の防災広報

横浜市消防音楽隊の定期公演に出かけてきました。今回は「飛躍～New Beginning～」がテーマ。第1部は荘厳なクラシックステージ、第2部は軽快なポップステージ、幕間を挟んで、消防の規律や統制美を体現したポートエンジェルス119によるステージドリル。優雅で躍動感あふれる演奏演技を堪能したのですが、特に感心したのが幕間に行われた防災広報でした。

前号で触れましたが、横浜市は新たな地震防災戦略にトイレ対策の充実強化を盛り込みました。心強いことです。しかし、「いざというときに使えるか」これは別問題です。ステージ上ではMCの音楽隊員が、能登半島地震に赴いた消防隊員に被災地のトイレ事情を尋ねながら、客席に「災害用携帯トイレを試したことがあるか」などを問いかけ、「備えたことで満足しがち」といった多くの人が陥りやすい罠を深堀していきます。二人の掛け合いは常に脱線、アドリブのオンパレード。まるで漫談(!?)でしたが、皆を飽きさせることなく、必要なポイントはしっかり抑えています。私の周りでは「買ったけど使い方は知らないね」「そう言われればそうだ」「いきなりじゃ無理ね」「帰ったら使ってみようかしら」等々、ヒソヒソ話とは程遠い、しっかり聞き取れる感想、会話が飛び交い、効果抜群。これまでの備蓄を呼びかける広報から、一步踏み込んだ内容を企画した狙いは的中です。演奏演技はもちろん、防災広報も「飛躍～New Beginning～」した出来栄でした。

音楽の持つ力は偉大です。音楽は人の記憶に強く結びつきます。悲しいとき、辛いときは心の支えとなり、嬉しいとき、楽しいときは心に残る思い出となる、そうした経験をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。音楽の持つ力を生かした防災広報。市民に愛されている消防音楽隊だからこそできる防災広報があるはず。期待しています。がんばれ!消防音楽隊!! (同音楽隊定期公演は、例年12月に申込受付開始、翌年2～3月に開催されます。)



令和6年度横浜市消防音楽隊定期公演 (横浜市消防局提供)



能登半島地震被災地のトイレ事情を語る消防隊員 (横浜市消防局提供)

## 横浜市防火防災協会 入会のご案内

当協会の目的に賛同されて入会を希望される個人、法人(団体)については、随時、入会を受け付けています。

■ 会員になりますと、防火防災に役立つ情報や消防関連各種講習会の開催案内などの提供を受けることができます。

提供される主な情報や案内は、次のとおりです。

- 1 防災広報誌 (年4回)
- 2 火災予防ポスター (年2回)
- 3 消防法、横浜市火災予防条例の改正情報
- 4 当協会が開催する消防法に基づく資格取得講習や応急手当普及啓発講習の実施計画
- 5 防災をテーマとした講演会、セミナー研修への参加案内
- 6 防災先進施設等の視察研修への参加案内
- 7 防災関係図書、防災グッズ等の紹介、案内

■ 会員には「正会員」と「賛助会員」の2種類があり、入会時に選択することができます。



		入会金	年会費
正会員	総会の議決に参加できる会員です。	10,000円	12,000円
賛助会員	当協会を援助していただく会員です。	5,000円	6,000円

お問い合わせ、ご入会の手続き

公益社団法人 横浜市防火防災協会 総務課

TEL : 045-714-0920

FAX : 045-714-0921

Eメール : kyoukai@ydp.or.jp





# 防火防災 協会におまかせ!

## 熱中症に対する応急手当講習を承ります。 詳細はご相談ください。

令和7年6月1日に改正労働安全衛生規則が施行され、職場における熱中症対策が義務化されました!

熱中症は梅雨明けに急激に増える傾向があり、対処としては予防や初期対応の応急手当が最も重要となります。

いざという時の備えとして応急手当を学びませんか。

出張費用や諸条件につきましてはお電話にてご相談ください。



## 横浜スタジアムにおける 救護協力

当協会は、2018年から横浜スタジアム内における救急救命士による救護協力を行っています。来場されたお客様の体調不良や急病、外傷などについて緊急度・重症度の判断を行い、必要な応急手当を行うものです。最も多いのは熱中症ですが、急性心筋梗塞や脳卒中のほか、気道異物などに対応する場合があります。今年で7年目となりますが、横浜スタジアム様との一層の連携により、これからもお客様の安全と安心に向けた救護活動を続けてまいります。



救急救命士の救護協力についてスポーツイベントはじめ  
集客会場でのご相談に応じます。お気軽にご相談ください。

横浜市防火防災協会 救命担当 担当：池谷・兼田  
TEL 045-714-9909

当協会では、事業所の  
訓練指導・防災管理点検 を実施しています。

TEL 045-714-0929



防火・防災  
コンサルティング

### 訓練指導

事業所の訓練指導やアドバイスを行っていますのでお声がけください。

横浜市防火防災協会 防災支援課 担当：鈴木・滝沢

<https://www.ydp.or.jp/consulting/>

# 新約消防白書

## 視点が変わると

信号待ちをする消防車の窓に手を振る園児たち。赤い車の窓からも手が振られている。園児たちには随分と人気がある。だが、仕事となると、心穏やかな日々ばかりではなく、敢えて休日に赤い車を目にしたいとは思えない時期もあった。

その時分、曲った素材は欠陥であり、周囲に合わせ、外見上、真直ぐにしても、曲りの歪みは内在していることに足掻いていた。そんな折、古い民家を訪ねた際、天井を仰ぎ見れば、曲がったままの木材が梁として建築構造に組み込まれているのが目に入った。「これがいんだよ。」と梁を見ながら呟く見学者の声を耳にしたとき、欠陥としての曲がりか肯定されたような感慨に

打たれると共に、新たな視点を得た気がした。

災害現場は、時にきつく、危険に直面し、汗や汚れに配慮しているゆとりはない、が、その災害現場で実際に使用され、汗と埃で汚れたであろう防火服・救助服が、バックなどにアップサイクルされ、市民を守り抜いた証とし、ふるさと納税返礼品として人気を博しているという。

この情報に触れ、アリを拡大鏡で、初めて覗き、その姿に衝撃を受けた少年が、偶然、庭先で、ひた向きに働くアリの姿を目にしたとき、心打たれ、愛おしさを覚えた話をふと思い出した。

視点が変わると違った景色が見えてくる。

そうだ。今度は、園児たちに紛れて一緒に赤い車に手を振ってみよう。(k)



## 妄言多謝 第31回

とお君は出がけに母親から言われる。「ちゃんと自分で歩くのよ」「うん」そしてじいちゃんとお君をつないで玄関を出、母親が見えなくなると「なんか疲れた」と地べたに座る。「えっ、年中さんは疲れなと言ったよね」「うん、でも疲れた」とお君の手は読めた。小さな声で「だっこ」「だめ、重たいもん」「じゃあおんぶ」「お母さんに何て言われた」「でもおんぶ」じいちゃんがしゃがんで背を向けると、とお君はすかさず這い上がる。体温が伝わる。「あの角まで行ったら降りるんだよ」「降りない」背中で暫く見える物の実況中継をしていて、突然黙ると重くなる。寝たな。これ

が最近の散歩である。

ちいちゃんと会うときは「おはようのぎゅっ」「学校から帰って来たのぎゅっ」「おりこうだからぎゅっ」「かわいいからぎゅっ」「何でもないけどぎゅっ」というとじいちゃんの懐に入ってくる。かなりの圧力で抱きしめる。「1年3組だからぎゅっ」と理由は何でもありだ。

人恋しくて二人の温もりを感じたく、さらにこれを書きたかったのは、原稿締め切り直前に高校以来の友人が突然向こう側へ行っただからだ。奥方とも親しかったので訃報の直後故人に会いに行った。「あたし何が何だかわからない。立ち直れないわ」掛ける言葉がない。(し)



# 横浜路地裏日記

YOKOHAMA ROZIURA NIKKI

連載 第30回

## 文と写真 ● ジャム

なんだか野毛山動物園のことばかり気になってしょうがない。なぜだろう。野毛山公園が1926年開園、野毛山動物園が1951年開園である。昔々は野毛の浦を望む景勝地であったとのこと。したがって明治大正の時代には、横浜の豪商がこぞって別荘を建てていたらしい。もちろんいいことばかりではなく、戦争中は陸軍の高射砲陣地だったり、戦後はアメリカ軍に接収されたりと過酷な運命も経験させられている。

植物には、植物同士のコミュニケーション能力があることが分かっている。伝達物質として、香りを使ったりすることはよく知られているところであ



る。近年では、鳥たちもいろいろなコミュニケーションをとっていることが分かっている。それでは、野毛山動物園の動物たちはどうなのだろう。気になっていることはそういうこと。どうするんだ、オレ。

久しぶりの野毛山動物園はリニューアル工事中。

「現在ライオンとトラはいません。」の看板がかかっているが、まずは、インドクジャクのきれいな白色に目を奪われる。人気者のレッサーパンダは、かわいいとが愛らしいとがではなく、何だか風格を感じさせてくれる。見学者が少し集まるとわざわざよく見えるように姿を現してくれるのだ。十分にサービスだと思えるくらい。その時、熱帯雨林で聞くようなサルとも鳥とも分からない声が響いた。何か大事な連絡事項か。アカエリマキキツネサルのところには、「大きな声をだしてごめんなさい」の看板があった。



## 協会事務局職員の新年度の人事について

### 新任



事務局次長  
防災支援課長  
**間正 勝司**

総務課嘱託職員 **松平 典子**

講習課嘱託職員 **中元 豊彦**



協会職員（講師含む）

事務局職員の趣味の紹介

# 私の趣味

No.13

音の楽しみ癒やしのひとつ

防災支援課嘱託職員 島田 章

中学生から始めた吹奏楽は、高校、社会人と続けてきて半世紀が過ぎました。

パートは金管楽器の「ユーフォニアム」を担当、ここ数年は低音のチューバを吹いています。

長年続けてこれたのは、母校の市立横浜商業高校（Y校）の部活動との関わりです。卒業後、活動のお手伝いをしてながら毎年の定期演奏会にも出演していました。もちろん私1人ではなく、家族の理解あってこそ続けてこれたことに感謝しています。

音楽は人の心を豊かにし、時には生きる力や人との絆も深



くします。ジャンルもクラシックからポピュラーと幅広く楽しめるのも魅力です。また、消防音楽隊での演奏活動では、様々な場所で幼い子どもから高齢者までが音楽を心から楽しんでいる様子を見て、とてもやりがいを感じていました。

私の子供達3人は、中学、高校でマーチングに没頭し、今は小学生の孫2人がピアノを習い、音楽への関心が家族ぐるみで続いているのも嬉しいことです。そして、今も高校の卒業生や吹奏楽を愛好するメンバーと音楽活動を続けていて、演奏会も今年で30回目となりました。「継続は力なり」と言いますが、体力が続く限り、生涯現役でこれからも演奏し続けたいと思います。



停車時の確認は入念に

## コメント

今年度からお世話になります講習課の中元と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。さて、今回はあえて平日の出勤前の朝食を紹介させていただきます。当初家族みんなで面倒を見る予定で引き取った保護犬(甲斐犬)2頭の散歩、餌やりをワンオペでこなしているため、朝食はトーストに苺ジャム、カフェオレとシリアルを残し時間約5分で終了させて足早に出勤。こんな調子で気ぜわしく一日がスタートします。

オススメ  
今回の推薦者  
講習課嘱託職員  
中元 豊彦



## 朝食はコレ!

当協会事務局員のオススメ

第7回



## 編集後記

佐藤榮一氏作の消防車のイラストや解説を載せた「画集 消防車」発刊に合わせ、「横浜消防の近代史」でアーレンフォックスに関する記事を執筆いただいた。画集の限られた誌面でも幅広く興味深い解説やエピソードがあるが、そこに繋がっている史実や背景は奥深い。さらに画集消防車にも出てくる林野火災に関連し、「時代の証言者」として防御戦術についても併せて執筆いただいた。過去や現在の災害やその対応から教訓を得て、今後の対策に活かし備える重要性を改めて考えさせられる。本誌もそういった視点を含め、地域の安全・安心に貢献できるようこれからも皆様のご協力をいただき作っていききたい。(F)

地元可愛され

# 消防設備業 63年



横浜型地域貢献企業  
横浜市YSDGs認証  
横浜市磯子区馬場町1-48 ☎0120-963-890

## 横浜消火器株式会社

◆地下埋設タンク・配管の  
気密漏洩検査  
(一般財団法人 全国危険物安全協会 第14012号)

◆産業廃棄物の処理・再生  
各種タンク・ピットの清掃工事  
(弊社でリサイクル可能な廃油は買取致します)

『ISO14001認証取得』

三美興産株式会社  
〒223-0059 横浜市港北区北新横浜一丁目9番地2  
TEL 045(549)3551 FAX 045(548)2102  
URL: <http://www.sanbikosan.com/>



## 応急手当講習テキスト 販売中




1部500円(税込み)      1個600円(税込み)

問い合わせ先  
公益社団法人横浜市防火防災協会  
講習課    電話 045-714-9909



消防・防災  
機器販売

消防設備  
工事・点検

防災用品  
販売

※ 廃消火器の処分は所定の手続きが必要です。買い替え・処分は弊社にお任せ下さい!

《創業76周年》消火器リサイクル推進センター 特定窓口

## 双信消防設備株式会社

横浜市西区中央1-37-24 ☎045-321-1884

## 創業50年

消火器・消防ポンプ他  
各種防災機器の販売  
火災報知機他・各種防  
災設備の設計施工・点検

株式会社 蒲原商会

横浜市港北区樽町3-1-13  
TEL (045) 542-7266 (代)  
FAX (045) 542-7252

消防用設備一式 設計・施工・販売・修理・点検

消火器	漏電警報器
自動火災報知設備	屋内消火栓設備
避難器具	スプリンクラー設備
非常警報設備	誘導灯

株式会社 

## 東横防災商事

〒226-0016  
横浜市緑区霧が丘4丁目2-3-206  
☎(045)921-1244  
FAX(045)923-0677

防犯・防災など地域への発信アイテムをお考えの方は、  
**デザインは(株)ナデックに**  
**印刷は野崎印刷紙器(株)へご連絡下さい**



クリアファイル



ステッカー



**担当営業がまずお話を伺います。** 横浜市鶴見区矢向3-15-27 Tel.045-571-3508  
**hongou@nozaki-print.co.jp** まで



**防火管理者必携!**

## 「消防関係法令集」最新版販売中!

### 本書の特徴

- 監修/横浜市消防局予防部予防課
- 防火・防災管理の業務を行う上で必要となる消防関係の法令を網羅した実務書です。
- 横浜市火災予防条例も編さんされており、法令、条例、両面の規制が把握できます。

**3,100円(税込)**  
 (当協会会員 2,800円)

### 新たに改正した主な内容

#### 消防法施行令

- ・第34条、第36条 二酸化炭素消火設備に係る技術上の基準等の見直し

#### 危険物の規制に関する規則

- ・第1条の6、第25条の6、第48条の3 屋外給油取扱所のキャンピー面積基準

#### 横浜市火災予防条例

- ・第14条の2、第74条 急速充電設備の規制見直し

#### その他

横浜市火災予防規則、横浜市危険物規制規則



- サイズ/A5
- 重さ/約1,200g
- 発行日/令和5年4月7日

### 購入方法

- ①当協会窓口で購入
- ②宅配を希望 (送料等の御負担をお願いします)

### 問い合わせ先

公益社団法人 横浜市防火防災協会  
 電話 045-714-0920 (総務課)



「横浜市防火防災協会」のホームページにご案内と注文用紙がありますのでご利用ください

横浜市防火防災協会

未来をつくる、神奈川県民のための

# 火災共済

組合員の皆さまが火災等に遭った時、互いに助け合う制度です。

建物 **1,000** 万円 保障の場合  
年間掛金例

マンション等  
耐火構造専用住宅

**4,000**円

戸建て等  
非耐火構造専用住宅

**8,000**円

※新規加入の際、出資金100円をお預かりいたします。その他、広告内容は概要のため、詳細はお問合せください。

お客様よりこんな声をいただいています！

※当組合で実施している各種アンケートにて、組合員様よりいただいた声より抜粋

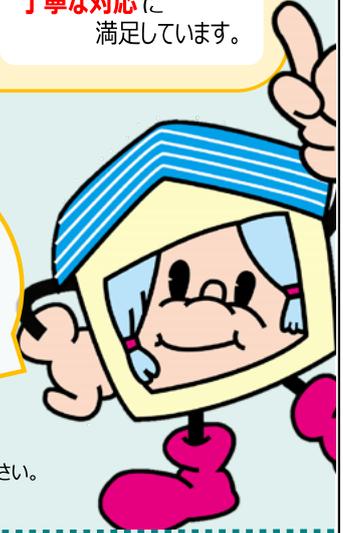
手頃な掛金なので  
契約しました！

加入手続きがカンタンで  
早かったです！

割戻金があると聞いて  
うれしく思いました。

丁寧な対応に  
満足しています。

手頃な掛金で  
築年数に関係なく  
加入できます！



横浜市民共済生活協同組合  
横浜市中区日本大通58 日本大通ビル8階

 **0120-073-203**  
【受付時間】月～金/午前9時～午後5時(祝日・年末年始を除く)

横浜市民共済

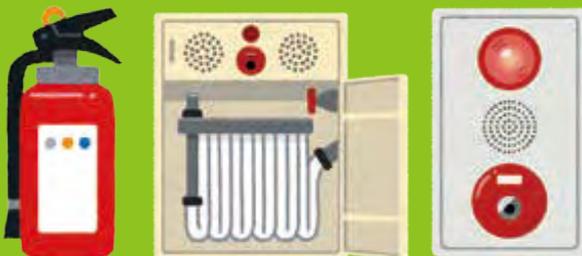
検索



万が一の準備、できてますか？



# 平山防災設備株式会社



消防設備の設計・施工・メンテナンス・点検まで  
創業60余年の経験と実績にお任せください。

**045-953-2727**

[www.hirayamabousai.com](http://www.hirayamabousai.com)

〒241-0021 横浜市旭区鶴ヶ峰本町1-35-36

これさえあれば、すぐに消防訓練ができる!



誰でもわかる  
消防訓練



誰でもできる  
消防訓練



- A4判
- 32頁
- オールカラー



併せて使えば  
さらに  
パワーアップ!



- 全17分
- トールケース付

●このDVDのすべての権利は、著作権者に留保されており、これを複製、放送(無線・有線)などすることはできません。  
●このDVDは、映像と音声を高密度に記録したディスクですので、DVD対応のプレーヤーで再生してください。

冊子+DVD  
セット

一般財団法人 日本防火・防災協会 / 監修  
定価1,100円 (本体1,000円+税10%)

詳細は  
こちら!



地震、風水害、原子力災害・・・、  
あらゆる災害への対応から日頃行うべき  
備えまで、家族の命を守るためのこの1冊!

## 防災ガイドブック

～もしものときに備えて!～



- A4判
- 20頁
- オールカラー
- 定価187円  
(本体170円+税10%)

詳細は  
こちら!

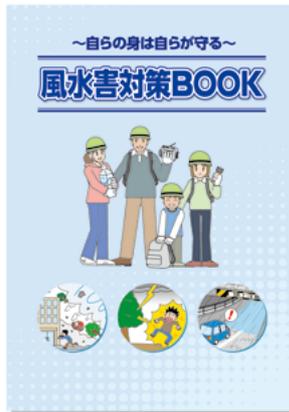


近年大きな被害をもたらし、多くの尊い命  
を奪っている風水害。「自らの身は自らが  
守る」ための最初の一步として!

～自らの身は自らが守る～

## 風水害対策BOOK

●監修 公益財団法人 市民防災研究所



- A5判
- 20頁
- オールカラー
- 定価110円  
(本体100円+税10%)

詳細は  
こちら!



東京法令出版 株式会社

お申込みは  
こちらから

インターネットでお申込み  
https://www.tokyo-horei.co.jp/  
(※最新情報等もホームページをご覧ください)

お電話でお申込み  
0120-338-272  
(※携帯電話からもお申込みできます。)

FAXでお申込み

0120-338-923

公益社団法人 横浜市防火防災協会

〒232-0064 横浜市内南区別所一丁目15番1号 BML横浜ビル2階

URL https://ydp.or.jp

FAX 045(714)0921



□ 総務課 TEL 045(714)0920  
□ 防災支援課 TEL 045(714)0929

□ 講習課 TEL 045(714)9909  
□ 救命講習受付 TEL 045(714)9911